

かめっ子だより No.061

令和8年6月26日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

1億円の重さって？

保護者の皆さま、校長室の机の上に置かれたジュラルミンケース。中に何が入っているかお分かりでしょうか？なんと1億円。残念ながらレプリカであって、本物ではないのですが、1,000万円の束が10個も。でも、重さは本物なんです。



→
→
→



19日(金)、6年生では八尾市役所の市民税課の方に来ていただき、租税教室の出前授業をしていただきました。「税金にはどんなものがあるかな？」という質問から始まりました。身近な“消費税”をはじめ、さまざまな税金について知るとともに、税金が私たちの暮らしとどのようにつながっているのかを考えました。

また、税金のない世界を主人公たちが体験するアニメを視聴しながら、「もし税金がなかったら社会はどうなるのだろう？」「なぜ税金が必要なのか？」といった視点で学習を深めました。道路や公園、学校、消防や警察など、多くの公共サービスが税金によって支えられていることを知り、税金の役割や使われ方について理解を深めることができました。

特に子どもたちの目を惹いたのは、ジュラルミンケースに収まった1億円が登場した時。子どもたちから「おおお！」と歓声があがりました。じゃんけんに勝った代表の子どもたちが、ジュラルミンケースを持たせてもらいました。重さはケース抜きで10kgになります。ケースを含めると、結構な重さになります。また、ケースの中から1千万円の束を取り出し、実際に手で持たせてもらいその重さを体験しました。「思ったより重い！」「これが1千万円の重みか…！」と、ずっしりとしたお札の束（あくまでも見本ですが…）の重さに子どもたちは大興奮でした。

6年生にとって、教科書上の数字だけではわからない「お金のリアルな存在感」や、私たちの暮らしを支えている「税金」について、詳しく学ぶ時間となりました。さらには、社会の仕組みや自分たちの暮らしとのつながりについて考える、大変貴重な学びの機会となりました。

市民税課の皆さま、ありがとうございました。

